

♪ 高倉先生の夏季講習会

研修部 辰野西小学校 塩澤 詩乃

今年も、高倉先生の夏季講習会は、学びあり笑いあいの盛りだくさんな一日でした！

午前中は“鑑賞”。体を動かすと言っても、ただ曲に合わせて自由に動くのではなく、その曲で学ばせたい“知識”を、実感を伴って理解するために動くのだということを再確認しました。つまり、どんな曲でも体を動かして聴くことが必ずしも有効とは限らないと…。

高倉先生は、音のマーク(サウンドマーク)がある曲は動きやすいと教えてくださいました。例えば、「おどろこねこ」ならサウンドマークは猫の鳴き声のような音、「剣の舞」ならパァ～オという合いの手。このサウンドマークがはっきりしていると、それを探そうと楽しく聴くことができ、その場で子どもたちの姿から評価もできるということでした。

午後は、“3時のおやつ”から始まり、“十五夜さんのもちつき”を四人で行う遊びや、カノンの仕組みを取り入れた音楽づくり、最後に“早口言葉”を使ってグループで音楽づくりをしました。どのグループも、たいへん盛り上がっていました！

高倉先生の講習会は三度目でしたが、私たち自身が一年に一度高倉先生の講習を受けるなかで、動きながら実感を伴って理解したりすることの大切さを改めて感じさせていただきました。

先生方、多くのご参加本当にありがとうございました。

♪ 自由曲講習会に参加して

伊那北小学校 倉田 昭子

7月13日・14日に行われた自由曲講習会に参加させていただきました。

毎年行われる藤原則生先生の講習会を、子どもたちも私も楽しみにしていました。前年に講習を受けた子どもたちは、先生のご指導をとってもよく覚えています。

30分という短い時間ですが、ポイントを的確にご指導していただけて“こうすればよいのか”とその後の練習の目標になります。

あっという間に時間が過ぎて“もっとやりたかった”という子どものたちの声を聞くと、日頃の練習ももっとやりたいという気持ちを持たせられたらと思います。とても貴重な機会だと感じています。

♪ 合唱大会に参加して ～沖縄民謡を歌うなかで～

箕輪中学校 武田 香代

山岳地帯に住む長野県民は、野山での仕事歌である民謡が合っているのか。今や、携帯やパソコンのインターネットで中学生でも簡単に知りたいことを検索できる時代です。視覚から入る映像を簡単に味わうことができ、小学校で「谷茶目」を鑑賞した既習経験もあるから大丈夫なのではないかと思っています。しかし、心臓から沖縄音階の民謡を歌い表すのは、難しさがあるのではないかと思います。

心身共に開放されていて、開けっぴろげに明るい仲間たちならできるのではないかと。しかし、ここに問題があり、生徒たちに「もっと、気持ちのやりとりを生会話でしていこう。LINEとかじゃなくて。」とよく言いました。そのなかで、少しでも沖縄民謡に近づこうと頑張った3年生、饅頭の厚い厚い中身として頑張った2年生、初めてだけど必死に努力した1年生。それぞれの頑張りがあっての今年でした。合唱大会を通して、生徒たちと共になかなか合唱は、一筋縄ではいかないところを改めて感じました。

“去年の3年生以上に結果を出したい”と頑張ってきた3年生も、すでに世代交代があるなかでラストチャンスにける日々に入っています。

♪ 第33回長野県学校合唱大会

兼第86回NHK全国音楽コンクール・長野県大会の結果

○関東甲信越ブロック大会 ☆奨励賞：箕輪町立箕輪中学校